

コンテンツ立国を促すユビキタス環境 —動画BLOGを楽しもう—

2001年にスタートした「e-Japan 戦略」が2004年に「u-Japan 戦略：ユビキタスジャパン戦略」へと変貌し、コンテンツ創製・流通、コンテンツ・ディストリビューション・ネットワーク(CDN)について、今盛んに議論されている。さらに2006年2月には首相官邸知的財産戦略本部より、コンテンツに関し、ユーザ大国・クリエイター大国・ビジネス大国の3本柱を実現すべきとの戦略が出され、我が国のコンテンツ立国戦略は本格化している。ユビキタス環境がコンテンツ創製・流通に与えたインパクト、新ビジネスモデルについて考察し、動画コンテンツによる発信の重要性を示すとともに、「1億総クリエイター化」、すなわちすべての人が容易に動画コンテンツを作り、動画BLOGを楽しむための技術開発についてその課題と展望を述べる。

講師 安田 浩氏

(東京大学 国際・産学共同研究センター 教授)

略歴：

昭和42年3月	東京大学工学部電子工学科卒業
昭和47年3月	同大学院工学系研究科電子工学専攻 博士課程修了
昭和47年4月	日本電信電話公社入社
昭和62年7月	NTTヒューマンインターフェース研究所 画像メディア研究部長
平成4年4月	NTT企業通信システム本部 開発部長
平成7年7月	NTT理事・情報通信研究所所長
平成9年4月	東京大学 教授 先端科学技術研究センター
平成10年4月～現在	東京大学 教授 国際・産学共同研究センター
平成15年4月～17年3月	東京大学 教授 国際・産学共同研究センター長

研究分野： 超高速通信網及びその応用、インターネット及びその応用、画像処理・画像符号化・知的財産権保護技術の研究ならびに感性工学研究

受賞等：

第32回業績賞 電子情報通信学会
平成8年度丹羽高柳賞業績賞 テレビジョン学会
1995-1996 米国テレビジョンアカデミーエミー賞(技術開発部門)
IEEE the 2000 IEEE CHARLES PROTEUS STEINMETZ AWARD
平成14年度情報通信月間総務大臣表彰
平成17年6月 映像情報メディア学会平成16年度丹羽高柳賞(功労賞)

主な著書：

- 新世紀デジタル講義 立花 隆, 橋本 毅彦, 安田 浩, 南谷 崇, 児玉 文雄著 / 新潮社 H.12 出版
- デジタル画像圧縮の基礎 安田浩, 渡辺裕著 / 日経BP 出版センター H.8 出版
- マルチメディア符号化の国際標準 安田浩編著 / 丸善 H.3 出版

対外活動：

IEEE(フェロー)、情報処理学会、電子情報通信学会、画像電子学会、映像情報メディア学会、日本工学アカデミー会員